

当世ヨーヨー事情

湘南台高校・山本明利

若者や子供達の間でヨーヨーが流行している。人気商品は品薄でプレミアム付きで販売されており、ひところの「たまごっち状態」である。最近の日本でのブームの火付け役は小学館の少年雑誌「コロコロコミック」らしい。中でも主流の「ハイパーヨーヨー」シリーズは米国ダンカン社およびヨメガ社のライセンス販売でバンダイが発売元である。たまごっちとよいヨーヨーとよい、市場操作のテクニックはさすがである。そして、このブームに便乗した類似品の流通も飽くことなくくり返され、闇市場も含めて巨大なマーケットが形成されているようだ。

ところで当節のヨーヨーはただ回転してもどってくるだけでなく、糸が伸び切ったときに空回りする「スリーブ」という機能をもたせてあり、その時間を利用して「トリック」と呼ばれるアクロバティックなプレイを楽しむように進化している。この「スリーブ」機能をもたせるため、各製品とも軸まわりに工夫がこらしてある。軸は文字どおりのヨーヨーのかなめである。米ダンカン社が開発したスタンダードなスリップストリング方式（糸をループにして軸にかけ、より合わせであるもの）に加えて、摩擦を減らすためにベアリングを施したものの、高速回転時に遠心力で軸受けがはずれて空回りするクラッチ機構を備えたものなど多様である。

子供達、若者達の旬の話題についていくための理論武装として、現在市場に出回っている主なヨーヨー実際に入手し、その構造などを比較してみたのが次ページの表である。第一表が元祖ハイパーヨーヨー（バンダイ）、第二表が便乗の類似品群である。

表中、軸構造の欄は以下の分類記号を用いている。従来の固定軸（N）以外にもこれだけの種類がある。

- N：固定軸のみ（スリップストリング式）
- C：ナイロンコーティング固定軸
- L：遠心クラッチ（てこ式）
- 2：遠心クラッチ（直線式2個）
- 4：遠心クラッチ（直線式4個）
- P：プラスチック（ナイロン）ベアリング
- W：木製ベアリング
- M：金属ボールベアリング

また、参考までに製造国の表示を書き添えた。下記のとおり略記した。

U：アメリカ J：日本 C：中国 T：台湾

ギャップという欄は、左右のホイールの間の隙間、いわゆるストリングギャップをミリメートル単位で示した。質量の単位はグラムである。

「トリック」と呼ばれるヨーヨーの技は、スリーブ（空回り）時間を利用してあやとりのようなテクニックを見せる「ストリングプレイ」と、スリーブまたは往復の間にヨーヨー本体を振り回すダイナミックな「ルーピングプレイ」に大別される。ギャップの広いものは前者、狭いものは後者に向いているとされる。

【バンダイの元祖ハイパーヨーヨーシリーズ】

	商品名	発売元	軸構造	ギャップ	質量	価格	製造国
①	ステルスレイダー	ヨメガ・バンダイ	M	3.1	4.7	¥5000	U
②	ステルスブレイン	ヨメガ・バンダイ	L	3.1	5.1	¥2400	U
③	ファイヤーボール	ヨメガ・バンダイ	P	3.1	5.9	¥2000	U
④	ステルスファイヤー	ヨメガ・バンダイ	P	3.1	4.5	¥2200	U
⑤	ハイパーブレイン	ヨメガ・バンダイ	L	3.1	5.9	¥2200	U
⑥	ハイパーインペリアル	ダンカンバンダイ	N	3.1	5.5	¥680	U
⑦	ハイパーグロー	ダンカンバンダイ	N	3.1	5.5	¥680	U
⑧	ハイパーホイールズ	ダンカンバンダイ	N	3.1-3.5	6.2	¥850	U
⑨	ハイパーミレニアム	ダンカンバンダイ	C	3.1	5.0	¥680	U

【バンダイ以外のヨーヨー】

	商品名	発売元	軸構造	ギャップ	質量	価格	製造国
⑩	ブリザード	リリコ・ホーレツヨ	M	3.1-3.5	4.5	¥2800	C
⑪	ハイブリッド	ビクトリー	N?	3.1	5.9	¥1200	J
⑫	ATOM7000GOLD	Moose・ジオ	N	2.8	5.8	¥850	C
⑬	スーパーSPORTING	???	L	3.5	5.6	¥680	T
⑭	TERMINATOR TORNADO	DiPS	M	2.5	5.3	¥4000	U
⑮	DYNA YO	TOY TECH	4	3.3	6.3	¥1200	C
⑯	SPACE Yo-Yo!!!	DELITONE	2	3.1	6.9	¥800	C
⑰	SUPERMAN	DC Comics	P	2.5	5.4	¥680	
⑱	SUN-WOOD MIRACLE	森脇・トキワ	M	2.8	5.5	¥980	J
⑲	(100円ヨーヨー)	???	N	2.5	3.6	¥100	C

ヨーヨーの運動を制御するためにプレイヤーが操作できるのは初速度（初スピ）と糸の張力だけである。特に投げ出しの初期条件は重要で、正確に投げないとジャイロ効果のためにあとの制御が難しくなる。スリーブとリターンを切り替えるのは張力の制御で行なう。糸をちょっとたるませることで、それまでスリップしていた糸を軸部の「スター」と呼ばれるギザギザに絡ませ、巻き戻させるのである。クラッチを装備したものは回転数が落ちてくると自動的にリターンするので初心者向きとされる。

バンダイはトリックに階級を設け、各地で認定会を開くなどしてブームを盛り上げている。米国では以前からヨーヨートリックを見せることを生業とするプロスピナーと呼ばれる一種の大道芸人がいるが、わが国でもそこまでブームが拡大するか注目される。新聞報道などによれば「テレビゲームに比べれば社会的で健康的」と親も好意的であるとのことで、今後しばらくは街角でヨーヨーを振り回す子供達の姿が日常の光景となることだろう。

【参考文献】

- | | |
|----------------------|----------------|
| ハイパーヨーヨーコレクション (小学館) | 裏の資料はここから引用 |
| ハイパーヨーヨーメンテナンス (小学館) | チューンアップテクニック紹介 |
| ハイパーヨーヨーテクニクス (小学館) | トリックの攻略本 |